

<お知らせ情報（C情報）に至らないごく軽度な機器故障>（月報）

（機器の故障に起因する不適合事項（軽微なもの））

2019年10月分（2月29日現在）

No.	発生日	設 備	概 要	処置状況	発生場所
1	2019.10.8	制御棒駆動水圧系設備 （制御棒の挿入、引抜き動作させる設備）	<p>制御棒駆動水圧系設備において、制御棒駆動水フィルタのフランジ部より水の漏えいが確認された。このため、当該設備の上流および下流の弁を閉止し、漏えいを停止させた。なお、漏えいした水は僅かであり、放射性物質の検出はなかった。</p> <p><u>原因調査の結果、長期停止期間における当該系統の間欠運転に伴う圧力変動により、当該フィルタフランジに使用しているガスケットのシール性能が低下し、漏えいが発生したと推定した。</u></p> <p><u>その後、当該フィルタフランジ部のボルトを増し締めし、運転圧力にて問題がないことを確認した。</u></p> <p><u>是正処置として、当該フィルタフランジ部のボルトを定期的にし締めすることとした。</u></p>	処置済み	原子炉 建屋
2	2019.10.16	補助ボイラー設備 （発電所の各系統で使用する非放射性的の蒸気を供給する設備）	<p>補助ボイラー設備において、脱酸剤注入ポンプの異常を示す警報が発生し、当該ポンプが停止した。</p> <p>原因調査の結果、本来ポンプの排水口から系統水が排水される場所、系統水に含まれている薬品の析出によりポンプの排水口が詰まり、系統水が残留したことにより、ポンプ内の部品が錆びたためポンプが正常に動作しなかったことが確認された。</p> <p>このため、排水口の詰まりを解消し、排水されることを確認した。また、排水口の詰まりの有無を巡視点検で確認することとした。</p>	処置済み	補助ボイラー建屋

3	2019. 10. 30	給排水処理設備 (発電所にて使用する純水等の製造および、非放射性排水を処理する設備)	給排水処理設備において、放水ポンプの出口圧力計の指示値が通常値より低いことを確認した。 原因調査の結果、経年使用に伴う錆の発生による配管内の詰まりが原因であった。当該配管の取替を実施し、圧力計指示値が正常であることを確認した。	処置済み	給排水処理建屋
---	--------------	---	--	------	---------

・「不適合」とは、要求事項を満たしていない状態をいいます。

※処置状況欄記載の「対応中」、「補修済み・取替済み・復旧済み」、「処置済み」については、以下の状況をいいます。

- ・対応中 : 要求事項を満足する状態に復旧中です。
- ・補修済み・取替済み・復旧済み : 要求事項を満足する状態に復旧済みです。
今後、原因調査、対策等を講じます。
- ・処置済み : 要求事項を満足する状態に復旧し、原因調査、対策等を実施済みです。
なお、今後、水平展開について検討・対応します。

・今月の更新箇所は下線で示しています。